

開催日時	平成 27 年 10 月 26 日（月） 18：30～20：00
開催場所	釧路市役所 議場
参加人数	10 人
出席議員	<p>月田光明 議長</p> <p>金安潤子 議員（議会広報特別委員長：司会）</p> <p>松橋尚文 議員（議会運営委員長）</p> <p>草島守之 議員（総務文教常任委員、石炭対策・関連エネルギー調査特別委員）</p> <p>戸田 悟 議員（経済建設常任委員、都心部市街地整備特別副委員長）</p> <p>高橋一彦 議員（民生福祉常任委員）</p>
質疑応答の内容	<p>問：釧路新聞の「巷論」欄を執筆しているが、先般、釧路市議会は変わったと書いた。22 年前に転入してきたとき以来、久しぶりに議会を傍聴して、整然としていると感じた。昔はザワザワとしていて、野次も多かったと思うがどうか。</p> <p>月田：議員席からの発言には野次と言うか、フォローと言うか、さまざまあるが、現在は議場が騒然とするというようなことはない。本会議はインターネットでライブ中継もしているので、こちらも見たい。</p> <p>問：早稲田大学の議会改革度調査 2014 で、全道の市議会で 1 番だったとのことだが、公開度が高いということか。</p> <p>月田：一つには公開性、透明性がある。現在は政務活動費の領収証を全て公開としているが、自らの情報発信であるホームページなどが高く評価されたのではないかと思う。この取り組みにはゴールがないので、今後も力を入れていきたい。</p> <p>問：議会中は、理事者は議会对応を最優先しているが、かつて自分が学校現場にいた頃、生徒が交通事故で死亡した際に必死で現場対応していたのに、議会对応を念頭においた教育局から、一刻も早く報告しろと、うるさく問い合わせがあった。</p>

月田：議会会期中に、議会对応を優先することはやむを得ないが、人命に関わるときは、ケースバイケースだ。議会も事件が起きている最中に、対応より議会を優先せよとは言わない。

高橋：市民最優先である。

問：道東道について、阿寒と釧路の間が抜けている。用地買収の課題もあるとのことだが、早く開通するように要請していないのか。

戸田：議論はしているが、当該地は宅地としてたくさんの人に売られており、所有者確定に時間がかかっている。そこが確定しなければ用地交渉もできないという事情もある。

月田：予算確保に向けては、市長とともに行動している。道庁、開発局、国交省など市の単独要望や期成会要望に、議会も参加している。

問：プロポーザル方式という説明があったが、この言葉を説明してほしい。

高橋：民間のノウハウを活用した企画や提案をもらうこと。市立病院の場合、増改築だから今ある施設を使いながら建設しなくてはならないという大変難しい部分があるので、民間のノウハウを取り入れて、いかに効率的に進めるかが大切で、そのあたりについての提案をもらった。提案は3社あったが、一番良い提案の会社を選ばれた。

問：火力発電所の稼働はいつ頃か。釧路コールマイン(KCM)の石炭を使うと思うが100%なのか。海外から石炭を仕入れないのか。

草島：稼働は3年数か月後を目指しており、現在、住民に害が及ばないかなど北海道の環境アセスの実施をしようとしている。KCMの石炭は年間50万トンの出炭量だが、そのうちの2分の1から3分の1の利用ができる計画となっている。また環境の面から、石炭だけでなく木のチップも使うこととしており、

	<p>100%石炭というわけではないが、K C Mの炭はできる限り使用する前提で進んでいる。</p> <p>問：チップは釧路産のものを使うのか。</p> <p>草島：海外からのチップを利用することを前提としている。</p>
<p>議会への 要望・意見</p>	<p>問：議会報告会の意味は何か。議会基本条例の中で決まったから報告する、ということにウエイトがあるのか、問題点を指摘する場なのか。</p> <p>月田：議会報告会は議会での質疑を報告することが中心で、その上で市民の皆さんと幅広い意見交換ができればと思っている。</p> <p>また議員個人の見解が違うので、市長と同じ角度で話ができるかという難しい面もある。一人の発言が議会を代表したものであると誤解されかねないことから、どうしても議論のあったことを報告することが主にならざるを得ないが、可能な限り議論があった内容に答えることはできるのかと思う。</p> <hr/> <p>問：議会で行っている一問一答はとても良い取り組みだが、傍聴席からは理事者しか見えない。インターネットで議員の質問を見たが、息遣いも伝わってくるので、是非続けてほしいし、もっとPRすべきだ。</p> <p>また議員は普通に話しているが、理事者は日本語を間違っつつかっている。「何々してございます。」の言い方はおかしいという意見)</p> <p>金安：理事者がまちがった日本語を使っているなど思うことは私もある。</p> <hr/> <p>問：今後18歳から選挙ができるようになり、本人の自覚も必要だが、議員の啓発・働きかけも大事である。</p> <p>草島：道教委で指針づくりがされており、注意深くその推移を見守っていきたい。また、投票率の低下に関しては、関係者には強く投票を進めているが、耳を傾けない人には届かない。</p>

金安：議会広報特別委員会としても取り組んでいきたい。

高橋：投票の勧めもあるが、選挙違反に対する注意もあり、この点も取り組んでいかねばならない。

問：釧路短大の卒業生である。市政に関心はあったが、どうしたら議会について知ることができるかはわからなかった。そうした折、在学中に釧路短大生を対象にした議会報告会が開催され、少し議会を知ることができ、それ以来こうした場にはなるべく出席しようと思っている。議会への関心があるかについては、参加者数などだけでは測れないと思うが、どういう反応を感じているか。また学生対象の報告会に関しても学校に向けての取り組みが大切だと思う。

松橋：参加者数の推移については、時間設定や開催会場による変動もあり、アンケートなどの意見を踏まえ試行錯誤を重ねている段階である。地域的には西部地域ではいつも多く参加しているが、東部地域では集まった人が少なかった。阿寒、音別地区でもなかなか集まらず、曜日や時間、会場を委員会で精査しながら進めている。

草島：18歳未満に対する選挙啓発の一環として、選挙管理委員会では投票箱を学校に貸し出すなどしており、高校生だけでなく、中学生にも周知に努めている。

金安：市議会としても、今年は中学生を対象に模擬議会を実施した。これが投票に直接結びつくかは別にして、なお模索して実施していきたい。

要望：昨年は桜ヶ岡中央会館に行ったが参加者がほとんどいなかった。参加者が少ないからやめるということではなく、周知を行き渡らせ事業を継続してほしい。

問：議会だよりがあれば、本日の報告会ももっと詳しく質問できたかなと思う。議会だよりが届いてからの開催のほうがよかった。

金安：次回の検討課題とする。

<p>市への 要望・意見</p>	<p>問：人員の適正化計画について、外部委託が進んでいるようだが、指定管理者制度を検証してほしい。委託料を下げた分、委託を受けた側の人件費が落ちていくのでは困る。単に安くというだけではなく、より良い仕事ができるように期待している。</p> <p>草島：指摘されたことに関しては同感で、行政側もこの声に沿った形で外部委託などを進めている。行政の委託業務というものは市民の個人情報を守らなければならない、同時に市民へのサービス低下があってはならない。サービスがさらに充実したという結果をもたらすように議会としてもチェックしていきたい。</p> <p>問：市民が集う施設は本来、地域住民の力を引き出せる場であるはずだが、単なる貸館になっている。指定管理業者には、単に施設を管理するだけでなく、地域住民の活動のサポートまで担ってほしい。今は住民の力を引き出そうとする意志が感じられない。</p> <p>草島：利用者から活動のアドバイスを求められたときには、対応できているものと認識していた。要望に応えられるような形をとるよう、意見を伝えたい。</p> <p>要望：「生涯学習」という言葉が使われてから、社会教育の分野が弱くなった。質的な確保を願いたい。</p>
----------------------	--

開催日時	平成 27 年 10 月 27 日（火） 18 : 00 ~ 19 : 30
開催場所	コアかがやき
参加人数	14 人
出席議員	畑中優周 副議長（石炭対策・関連エネルギー調査特別委員） 村上和繁 議員（議会広報特別委員、総務文教常任委員：司会） 三木 均 議員（議会運営委員、民生福祉常任委員） 酒巻勝美 議員（経済建設常任委員） 渡辺慶藏 議員（都心部市街地整備特別委員長）
質疑応答の内容	<p>問：市の事業で高齢者バス等利用助成制度があるが、年末にはバス券を使い残してしまう。単にバス会社への支援になっているのではないか。バス券を多くの方が使えるように考えてほしい。</p> <p>三木：高齢者バス利用助成券の利用状況だが、申請して受け取っているにも関わらず、使いきれていないのが課題である。その理由としては、非課税の方が対象なので、所得確認の関係で交付が6月以降になること、また100円券しかないことも不便であり、そうした課題は委員会でも議論されている。</p> <hr/> <p>問：水産加工場のバスやゴルフ場のバスは自宅の前まで迎えに来ているが、公共バスはバス停にしか止まらず、しかも人が乗っていない。除雪の課題もあるが、発想を転換して自宅前で止まるように考えてもよいのではないか。マイクロバスなどを活用して小まめに住宅街を回れるようにしてはどうか。</p> <p>酒巻：路線バスにマイクロバスを活用してはどうかとの提案だが、そこまでは議論できていない。貴重な意見として受け止める。路線バスの日中の有効活用をバス会社と考えたい。</p> <hr/> <p>問：地域に町内会がなく、防災のシミュレーションがあってもどこに行ったら良いかわからない。地域に市役所職員がいても町内会を作ろうとの声が上がらない。</p> <p>村上：町内会の組織率が低くて問題になっている。議員としても町内会の結成や活性化に力を尽くしたい。文苑や新興住宅地に</p>

	<p>も町内会ができるよう努めたい。</p> <p>問：マイナンバー制度が始まるのに国勢調査を行うのは無駄ではないか。税金の無駄遣いだ。</p> <p>畑中：話はわかるが市議会の報告会であること理解してほしい。</p> <p>問：18歳以上に選挙権を引き下げるのは、おかしい。また最高裁判事の国民投票も無駄だ。</p> <p>村上：選挙権については、決まっていることなので、選挙に関心を持ってもらえるよう、しっかり判断を持って投票所に足を運んでもらえるよう啓発するとともに、参加できるよう応援したい。選挙管理委員会も取り組んでいるが、意見があったことは受け止めたい。</p> <p>問：市民税の確定申告だが、ある時から用紙が送られてこなくなった。収入が把握されているからとのことだが、医療費控除もあるのではないか。妻は介護保険になっているが、なぜ自分の収入が関係するのか。固定資産税をなぜ負担しなくてはならないかわからない。</p> <p>三木：事務的に詳細な点はここでは回答できない。</p> <p>村上：収入による課税部分、資産に係る課税部分など、日本の税制がそのように組み立てられている。</p>
<p>議会への 意見・要望</p>	<p>意見：こうした議員と住民の懇談会では、色々な意見が出るが、市の理事者ではないので、後で返事するとか、伝えるという対応が良い。</p> <p>市議会について関心を持ち、協力するであれ、批判するであれ、傍聴すればいい。議会質疑の一問一答方式は非常にテンポが良く、インターネット中継もスムーズで聞きやすい。</p>
<p>市への意 見・要望</p>	<p>問：春先に市が道路の清掃をするが、清掃前の方がきれいだ。毎年実施している事業だから今年もやっているぐらいに思える。</p>

事業効果を町内会に確認するべきだ。

酒巻：貴重な意見をいただいた。費用対効果の件では委員会で議論していないので、持ち帰って議論したい。

問：家の前に雪を押しなと、除雪の件で道路事務所を訪ねたことがあるが、相変わらず道路の真ん中だけを除雪している。担当者と話をして、「できない」の一点張りで責任者に会わせない。広報では聞こえが良いことを書いてあるのに、適当な返事だ。警察に電話して、除雪作業を見てもらったときは、きれいに作業していた。

酒巻：市の道路除雪は、市内を6つのブロックに分けて対応している。ブロックの中でも雪が降るたびにスタートの位置を変えており、なるべく特定の地区が遅くならないように配慮して取り組んでいる。除雪作業は夜・夜中をかけて実施しており、自宅前を除雪した後に、道路除雪が入って自宅前に雪を置いていくという苦情もある。市民の協力をもらって一緒にやらなくてはならないことなので理解してほしい。今日もらった意見についても担当に伝えるとともに、さらに議論したい。

問：釧路町では、大きい機械と小さい機械を使い分けて除雪しているとのこと。道路管理者としての義務は果たすべきで、予算の問題でない。

酒巻：幹線道路と住宅街の中の主要道路は排雪しているが、住宅街の道路全ては排雪できない。必要な予算はかけるが、道路の延長はかなりある。

問：予算があってもなくても、すべて排雪するのが、管理者としての責任ではないか。理由を聞いても「できません。」という答えしかない。

酒巻：理解してもらおうということも必要。職員の説明が不足していることは確認して担当に伝える。

村上：除雪について私もたくさん苦情を聞いているが、私どもは議員の立場なので約束できないこともある。できることは聞いたことをしっかり伝えることと、所管の委員会の中で議論する

ことなので、その点はしっかり取り組みたい。

畑中：貝塚に住んでいるが、美原のように歩車道が整備されておらず、歩道・車道の区別が少なく、除雪には苦慮している。全て排雪できればいいのはそのとおりだが、バス通りとか学校に近い道路が優先で、なかなか住宅地の生活道路はできていない。ご指摘の旨は伝えるが、今年の冬からできるかは約束はできない。

村上：これ以上議員としてお答えすることが難しいことを了解していただきたい。

問：美原1丁目に住んで35年ぐらいになる。転居してきたときの条件として、10年は土地利用に関する規制があると聞いた。その後規制がなくなったので、自宅を改装して保育ママとしての活動を考え建築申請したら、認められなかった。

営業になることは認められないはずなのに、元官舎が転売されマンションになった。住宅地と商業地に分けているのに、保育ママがダメでマンションが許される理由がわからない。

また最近、一人暮らしの老人も多くなり、そうした人に向けたお茶飲みや卓球ができる20畳ぐらいの場所をつくるつもりでいる。そして次の段階として、施設に入れたい要支援や要介護の人を集めてデイサービスをしたいと考えているが、これにも規制がある。規制を外すにはどうしたら良いか。

村上：建物を建てて良いか悪いかは、都市計画で決められているので、都市計画を変更しなくてはならない。制度の中で建てられる建物とそうでないものがある。詳しく場所を聞きたい。規制内容を伝える。

三木：お年寄りが住み慣れた地域で暮らしていくために、医療や介護などのサービスを地域の中で皆で協力してやっていくよう、地域包括支援センターが中心となって組織づくりをしており、この仕組みに地域の人にも協力してほしい。

問：文苑湯の近所には小さい子が多いが、図書館まで行くのが大

変であると図書館に連絡したら、「コアかがやきに図書室がある」と言われた。子どもをバギーで連れて行ける距離ではない。地域で子どもを育てたいと思っており、図書館バスを増やして、是非文苑2丁目に来てほしい。

村上：具体的に場所を聞いて担当に伝えたい。

開催日時	平成 27 年 10 月 28 日（水） 13：30～15：00
開催場所	釧路市役所（議場）
参加人数	23 人
出席議員	<p>月田光明 議長</p> <p>金安潤子 議員（議会広報特別委員長、総務文教常任委員：司会）</p> <p>大越拓也 議員（議会運営委員）</p> <p>森 豊 議員（経済建設常任委員、都心部市街地整備特別委員）</p> <p>梅津則行 議員（民生福祉常任委員会委員長）</p> <p>工藤正志 議員（石炭対策・関連エネルギー調査特別委員）</p>
質疑応答の内容	<p>問：駅前の再開発のことについて色々聞いてはいるが、いつまでたってもなかなか形が見えてこない。災害避難の視点から必要性もあると思うので、スピード感を持って対応してほしい。</p> <p>森：都心部市街地整備特別委員会は、駅前を含めて都心部の整備について考えるため 9 月にスタートした。スピード感を持って取り組んでいこうという意見も出ている。</p>
	<p>問：大型クルーズ船で外国人が来るようになって、北大通を廃れ気味とイメージされるのは釧路にとってマイナスである。危険な建物もあり、古いビルを壊して新しくする計画などはないのか。</p> <p>森：市では、空き家対策について担当参事を置いた。現在実態を調査しており、これから委員会で議論をしていきたい。</p>
	<p>問：10 月にまなぼっとで、若菜さんのマリモに関する話とモシリの演奏を聞く会を開催した。議員も何人かは来ていたが、もっと来てほしかった。マチをよくしようという市民団体の人が多くいるので、触れ合う機会をもっと作ってもらって、団体のメンバーが考えている本音の部分を引き出してもらいたい。</p> <p>金安：マチづくりに対する思いを受け止めた。これまでも議員は市民の活動には出席するように努めている。私は 10 月のマリモの話の時は、会派視察と重なったので出席できなかったが、今</p>

後とも、ともに頑張っていきたい。

問：マイアミの港などではヨットやクルーザーが多く係留していたが、釧路ではカヌーにしても船を停める場所がない。弟子屈などを含めて周遊させられないものか。

また、昔、仁々志別川でリバーサイド開発の話があったと聞いたことがある。市民も活用できるので総合的に考えてみる必要があると思う。

森：海外のマリーナの事例を聞いたが、釧路で港をそのように活用しようという話は聞いていない。ただ、千代の浦は北海道の管理している港で、ヨットが停泊できるので、これをもっと市民に広げていこうという提案だと思うので、実態などについては今後確認していきたい。

問：老朽化住宅について、市としてどのように取り組んでいくか。

森：老朽化住宅対策については、国の方針が見えてきたところである。市としての対応に関して6月議会でも質問があったが、課題として老朽化住宅の所有者がつかめないこと、建物を壊すと税金が上がるということがある。全国的には強制撤去という事例もあるが、釧路はそこまで至っていない現状である。防犯・防災の面からもスピーディーな対応が必要である。

問：港まつりの歩行者天国の継続に関し、多くの市民が楽しみにしている歴史ある行事であり、早く結論を出さないといけないが、だらだらしているように感じる。もう少し詳しい説明を聞きたい。

森：市として、正式に聞いていなかったことであり、その上で実行委員会に話を聞きに行ったところ、お手伝いをしていただく人が少なくなり、メンバーの負担が重くなったことが第一の原因であるとのことである。実行委員長はやめたいという意向を持っていると聞いているが、しっかりと協議するとのこと、いつまでに結論を出すということには至っていない。

	<p>問：実行委員会のメンバーはどのような人か。</p> <p>森：実行委員長は北大通の商店街の若い人。市の職員も手伝いに出ているが、北大通に店がなくなり、経営者も高齢になって手伝えない人も多くなった。学生に声をかけたりしているが、それでも大変だということである。</p>
	<p>問：昭和中央公園の駐車場に、夏になるとキャンピングカーが多く集まる。以前と比べ旅行者の行儀は良くなり、なんとかうまくこの旅行者を活用できないかと思う。それには駐車場が必要で、少し整備することでもっと集まると思う。</p> <p>森：そうした議論はあった。トイレのあるところに集まることも承知しており、市としても問題意識を持ち、観光の面で取り入れて行くと思うので、後押ししていきたい。</p>
<p>議会への 意見・要望</p>	<p>問：平成 23 年度から議会報告会を実施しているとのことで心強く感じる。また、子ども議会も含めて素晴らしい取り組みであり、もっと広く浸透するように仕組みを考えてほしい。</p> <p>金安：市議広報特別委員会としても、さまざまな取り組みを実施してきている。これからもどういう取り組みが有効か検討していきたい。</p> <p>問：請願・陳情 3 件について、市民としては大事なことを議会に伝え、提言することでまちづくりに参加している自覚を持てるものであるが、どうして 3 件全てが採択されなかったのか。</p> <p>金安：陳情 2 件は、安全保障関連 2 法案の廃案を求める件と、平和安全法制整備法案等の廃案を求める件で、いずれも不採択となった。また、請願は釧路西 IC 開通に伴う道の駅の整備についてであったが、提出者から取り下げの申し出があった。</p> <p>問：請願、陳情は生活環境の改善を求めるものなので、不採択は残念だ。住民との関係を考えてほしい。</p> <p>月田：採択した後の実現の可能性のこともある。採択を行うということは議会が責任を持つことになるので、色々な事情により</p>

実行が難しく、継続審査とすることもある。採択されたが実現しないということにもならないので、採択に適したタイミングを計ることもある。できるだけ市民の思いを尊重したいと思っている。

問：マチづくりに対して熱い思いを持っている団体の中で最大なのは市連町であるが、残念ながら加入率が50%を切っている。何とか上向かせたく取り組んでいるが、成果が上がっていない。議員は私ども以上にこの点に関心を持っていると思うので、自ら住んでいる地域から加入促進を進めてほしい。

金安：議員もそれぞれの地域で頑張っていきたい。

問：橋北東部の町内会長だが、巖島神社の祭の神輿を栄町の旅所で一晩守っており、5年に1度の当番で対応している。その当番も次回から抜けさせてほしいと言う町内会も出てきており、再検討してもらうよう話しているところである。中心市街地を活性化するためにも祭はひとつのテーマであり、人がいない、やり手がないということを議員が掘り下げて、北大通の活性化を含めた議論としてほしい。

金安：議員全員、祭を守っていきたいという思いを持っていると思う。しっかり掘り下げて議論していきたい。

問：4年か5年に1回の当番の時は、15万～20万円というお金もかかっている。防犯灯の電気代と一緒に、会費を上げると脱退するという会員もいる。そうした費用がかかっている実態について改めて認識してほしい。

金安：祭に参加している一人として、少ない中で頑張っている北大通のメンバーの働きを見て、お金集めや人集めなど何から何までやっていたために、やっている人が疲れたと聞いた。議員として何ができるか検討していきたい。

問：緑ヶ岡会館、貝塚会館、緑ヶ岡児童館など地域の施設が一体となった新しい施設を作りたいとの要望があったことを新

	<p>聞で読んだ。施設の集約には賛成だが、地区会館の役割の一つとして葬儀があり、児童館とは機能が異なる。子どもたちが遊ぶところで葬儀が行われるというのはいかがなものか。そのような施設の使われ方について議論はあったのか。</p> <p>梅津：地区会館と児童館の複合に特化した議論については、民生福祉常任委員会ではまだされていない。具体的に担当課として検討している話ではないとのことだ。複合化するかどうかは公有資産マネジメントの一環となり、その担当部署で検討している。その上で複合化の議論が進めば当委員会でも議論となるが、まだそのような状況ではない。</p> <p>問：施設の適正化に向けた議論は承知しており、施設を集約したい意味は分かる。ただ、子どもと葬儀のような微妙な問題、合体の仕方は、できればしっかり議論してほしい。</p> <p>金安：議員それぞれが問題意識を持っている課題なので、これから検討していく。</p>
<p>市への 意見・要望</p>	<p>問：川湯温泉の排水はどうなっているのか。屈斜路湖畔に流れていて、釧路川にも流れ込む可能性がある。垂直循環という視点で考えていかねばならない。</p> <p>梅津：川湯温泉の排水に関して、6月と9月の議会では議論が出ていない。心配されている排水の成分については、後日担当と話をしてみたい。</p> <p>問：防犯灯の電気代について、負担している人と、負担していない人がいて不公平だと町内会で議論がある。私の町内会は電気代が年間25万円ぐらいかかるが、LED化して3分の1ぐらいになった。アパートやマンションの住民から電気料をもらっている町内会もあるようだが、条例化するなどして市で対応できないか。</p> <p>梅津　ご指摘のことは6、9月の議会では議論はなかった。ただいまの声については12月議会において伝えたいし、委員会での答弁も聞いてもらいたい。</p>

またアパート、マンションの住民が町内会に入らず、ゴミの出し方にも問題があり、地域の人が苦勞されていることも聞いている。防犯灯の電気代も払っている人、払っていない人の不公平があることはそのとおりである。市では総合的に解決を模索するのだろうが、さらに委員会で議論を重ねていきたい。

ただいまの質問は本会議でもよく聞かれているテーマであるので、取り組みは進んでいるものと個人的には思う。それぞれの議員は既に町内会加入を働きかけており、委員会で質して12月以降に文書としてお送りしたいと所管委員長として考えている。

開催日時	平成 27 年 10 月 28 日（水） 18：00～19：30
開催場所	コア鳥取
参加人数	23 人
出席議員	<p>畑中優周 副議長</p> <p>大越拓也 議員（議会広報特別委員：司会）</p> <p>松橋尚文 議員（議会運営委員会委員長、経済建設常任委員会委員、都心部市街地整備特別委員会委員）</p> <p>続木敏博 議員（総務文教常任委員会委員、石炭対策・関連エネルギー調査特別委員会委員長）</p> <p>梅津則行 議員（民生福祉常任委員会委員長）</p>
質疑応答の内容	<p>問：北大通がゴーストタウン化しており、観光客にメイン通りはどこだと聞かれても、答えられない。観光客が散策できるようにアイデアを出せないか。</p> <p>またMOOは空きが多いが、函館の煉瓦館ではすり身を作ったりしている。小樽の運河もさびれていたものが立派になって、全国に知られるようになった。人がいないと嘆いてばかりいないでこうしたことを真似できないのか。</p> <p>松橋：北大通の活性化については、何年も前から議会でも議論になっている。今、民間事業者による再開発の動き、図書館の移設の動きなどもあり、この6月議会から新しく特別委員会を設置して、より具体的に議論を深めていこうとしている。</p> <p>昔は北大通に人が多かったが、買い物が居住地域で済まされるようになってから、北大通周辺で買い物をする人が減ってきたようだ。今、釧路市はコンパクトシティという居住地域ごとのマチづくりを進めながら、交流人口を増やすという施策を進めている最中である。ご指摘の点もしっかり議論させていただきたい。</p> <p>問：北大通のデパート跡が本当に汚い。</p> <p>松橋：北大通のデパート跡の一部は再開発が予定されている。また壁がはがれている建物もあるが、権利者の課題などもあり、なかなか現状では市として建物に手を付けられない。</p>

国も、空き家・空きビル対策の法律を制定したので、市としても施策を講じていかなければならないと議会で議論している最中である。

問：市立病院の増改築について、当初は北側の駐車場にCT棟を増築し、他は改築すると聞いていたが、今は新築だという。今の駐車場の場所に全て新築するのか。既存の建物も使うのか。

梅津：新聞報道では新築と書かれたが、今の建物をすべて壊して建てるのではなく、一部を壊して対応するもの。機能としては新たに充実させることは間違いない。医療機能を充実させるため、一部を壊して駐車場を作るなどする。ただしベッド数については100床程度減ることになる、という提案をされて、先日基本設計・実施設計予算が議決された。病院として一回り大きくなるが、新聞で「新築」と書いてあったので、誤解されている。

問：市立病院は現在の場所でないとダメか。報道を見て新築と思ったので、それならもっといい場所があるのではないかと考えていた。

梅津：議会の議論としてはその点は出なかった。全く新しいなら検討されるだろうが、そうなればもっと多額の費用が必要となる。国から地域医療計画という指針が示されているので、医療機能を充実していくために今の中で改築して対応していこうというものだ。

問：市立病院が現在の場所で新しくなっていくということはコンパクトシティの考え方とは異なるのではないか。北大通に移転するなどした方がよい。また古い建物には罰金を払ってもらうなどのしくみがあってもよいのではないか。そのようにして都市の建物をスイッチしていくのがコンパクトシティの考え方ではないか。

梅津：民生福祉常任委員会の中では、コンパクトシティに関連しての議論はなかった。国が示している地域医療計画の中で2025年に向けて地域包括ケアというシステムを作る時に、市立病院

は釧路・根室管内で一番の病院としての機能を考えなさいと示されているので、そのためにどういう医療機能を持つか、そこが議論の焦点だった。

続木：コンパクトシティの考えの中で、病院の位置付けはなかった。現在市には総合病院が3つあるが、人口比から見ると恵まれており、津波を含め災害のことを考慮すると、同じような場所でない方がよい。議会として議論の中にはなかったが、そう考える。

問：火力発電所について、昭和30年代ぐらいに敷地を確保していなかったか。また、この先何年かして石炭がなくなったら輸入炭を使うのか。

火発もさることながら、若者をもっと雇用できる企業を誘致してほしい。

続木：昭和50年代に西港の付近に用地を確保し、準備していたが、その後、立ち消えてしまった。

火力発電所については、現在、釧路コールマイン(KCM)では、毎年50万トンを掘っているが、輸送費をかけて兵庫県の火発まで運んでいる。そうした中で、すぐ隣に火発をつくると手を挙げてくれる企業が出てきて、市も北海道もこれを進めたいと考えているし、建設に反対している議員はいない。現在、環境アセスを行っており、平成31年から動く予定でいる。これによってKCMは安定的な運営が可能となる。

火力発電所は機械で動くため、火発自体は40人程度の雇用でしかないが、KCMとしては400人ぐらい雇用しているので、この雇用が瀬戸際でもあるとも言える。

今後どれぐらい掘り続けられるかについては、長期の出炭計画は我々にも示されておらず、その先輸入炭になるかどうかは現時点ではわからない。

問：火発の建設予定地は。

続木：興津のズリ山のすぐ脇。

	<p>問：豪華客船が西港に停泊しているようだが、耐震岸壁に停泊できないか。バスが来ないなどの不満も多いようだ。</p> <p>松橋：耐震岸壁は水深が足りず、下が岩盤のため、これ以上深くするのは難しい。客船の中でも大きな船は西港に停泊となる。昨年は喫水調整ができず西港に回ったケースや、強風のため沖合に停泊したケースもあった。少しでも多くのクルーズ船に来てもらい、喜んでもらいたい。</p>
	<p>問：来年着工の図書館の件だが、市が負担するお金はどの程度になるのか。</p> <p>梅津：新図書館建設に関しては昨年議論した。市からは民間ビルの3階から7階までの家賃として、年間数千万円を30年間にわたって払うことになる。現在、実施設計段階なので、これから具体的な金額が出てくる。</p> <p>問：それは市の負担か。</p> <p>梅津：家賃と図書館に直通するエレベーターも市の負担になる。また、補修の際、経費をどうするかはこれからの問題である。</p> <p>問：相当な負担だと思うが。</p> <p>梅津：独自に建てると地代がかかり、同じぐらいの負担になる。一時に大きな負担をしないで平準化した金額で払えるというメリットもあり、駐車場のことも必要な台数は確保されるなどということを確認したが、具体的なことはこれからになる。</p>
<p>議会への 意見・要望</p>	<p>問：議員が視察に行くとお金がかかるという意見があるが、控え過ぎはいかがかと思う。むしろ旅費を使った成果を市民に還元することが必要ではないか。市民のためならお金を使うことも大いに賛成だ。</p> <p>続木：政務活動費が与えられているので、有効に活用していきたい。議員の資質が向上するように頑張りたい。</p>

<p>市への 意見・要望</p>	<p>問：市民主体のまちづくりとして基本条例が施行された。地区連合町内会に送られてきた条例に関する冊子の追加を市に求めたところ、余分はなく増刷の予定もないという。みんなで参加しましょうと言っておきながらチラシが「ない」というのはいかなものか。</p> <p>これを市のホームページで探すとなると1回や2回のクリックでは届かない。議員としてというより、町内会に関わっている皆さんとしてはどう思うか。</p> <p>続木：熱心に町内会活動されていて素晴らしいと感じた。ご指摘の点のご意見があつて当たり前だ。もっと知らせる工夫をするように議会の中で伝えたい。</p>
	<p>問：定員適正化計画策定に関して、第3セクターとは何か。</p> <p>また民間委託についても、ごみ収集くらいしか知らない。どういうものを委託しているということを知らないと議論ができないので、市民にもっと教えて欲しい。</p> <p>続木：第3セクターは、市が経営に関わった法人のことで、うまく行かなかつたため廃止して、こうした事業を民間に委託したものが指定管理者である。</p> <p>これまでは大きな建物の管理を市が直接やっていたが、民間でできる仕事はしっかりやってくれる民間に任せるようになった。効率の良いものは民間に委託しており、図書館も指定管理者として専門の会社に委託し、開館時間など民間の知恵を使って、多くの市民に活用いただけるよう努めている。</p> <p>問：どのような業務が委託されているかということは、何を見たら、わかるかのか。</p> <p>梅津：身近なのは地区会館、コミセン、図書館などが指定管理者制度になっている。民生福祉常任委員会では、コミセンの指定管理者更新にあたり募集したところ、応募がなく、単価を上げて再公募して応募があつたと聞いている。</p> <p>問：もう一度聞くが、何を見たらわかるかのか。</p>

	<p>梅津：議会報告会なので、議会は何を見て判断したかということ を報告したが、市民の皆さんに明示されていないと分かった。 畑中：委託事業の情報が市民に届いていない声があった旨を市に 伝え、ホームページなどで対応できないか要請する。</p>
	<p>問：市立病院は駐車場が狭く、博物館の方に行って停めている状 況である。駐車場を増やしてほしい。 梅津：市に伝え、委員会の中でその報告を求める。</p>
	<p>問：釧路には産婦人科が市立病院と日赤病院にしかなく、根室管 内にも産科はない。いつ行っても対応できるように産婦人科を 大きくしてほしい。 梅津：周産期医療に対する機能も市立病院の増改築に当たっては 議論になるところである。平成 22 年と平成 25 年を比較すると 病院別の新生児数は日赤病院が 1,200 人から 900 人になり、市 立病院が 700 人から 900 人になったが、医師は日赤病院より少 ない現状もある。意見があったことは委員会の中で伝える。</p>

開催日時	平成 27 年 10 月 29 日（木） 18：00～19：40
開催場所	阿寒町公民館
参加人数	13 人
出席議員	<p>金安潤子 議員（議会広報特別委員長：司会） * 議長代理</p> <p>鶴間秀典 議員（議会運営委員、総務文教常任委員）</p> <p>宮田 団 議員（経済建設常任委員長）</p> <p>佐藤勝秋 議員（民生福祉常任委員、石炭対策・関連エネルギー調査特別委員）</p> <p>村上和繁 議員（都心部市街地整備特別委員）</p> <p>岡田 遼 議員（議会広報特別委員）</p>
主な質疑 応答の概 要	<p>問：水道施設の更新による負担の観点から、未納者に対する料金回収についてどのように考え、水道料金の改定に取り組むのか。</p> <p>宮田：水道料金の値上げを議論するにあたり、公平に負担してもらおうという視点でしっかり議論していきたい。</p> <p>鶴間：納付相談に応じてもらうため、水道を止めることもある。それでも連絡がない場合は、居所不明や空き家だと聞いている。</p> <p>佐藤：水道を止めるのは最終手段。そこに至るまで、未納にならないよう督促や臨戸訪問等の対応をしている。また、さまざまな事情に配慮しながら、分割納付の相談等に応じている。愛国浄水場等の整備により、料金改定の議論を今後進めていくことになる。</p> <p>要望：自分から水道料金が払えないと言えない人が多い。分割納付など市民に寄り添った対応をお願いしたい。</p>
	<p>問：給食センターや保育園を民間委託とする可能性があると感じたが、なぜこの2つが対象になっているのか。</p> <p>鶴間：財政健全化を図るため、民間でやれることは民間に業務をお願いしており、従事する現業職員の待遇等を勘案して進めている。</p>
	<p>問：町内会が増えていない点について聞きたい。</p>

	<p>佐藤：市連町と市で協定を締結し加入率促進に向けて取り組んでいる。特に若い世代が町内会加入のメリットなどを理解していないので、重要性を訴えていきたい。</p> <p>問：合併後と合併前での町内会加入率の変化について聞きたい。</p> <p>また、道路整備について、もっと吟味して対応してほしい。</p> <p>佐藤：旧釧路市内でも東部の加入率は高いが中部から西部に行くにつれて加入率が下がっている。合併後も加入率は横ばいと捉えている。</p> <p>鶴間：道路整備の予算はしっかり見定めて提言しているので理解してもらいたい。</p> <p>問：阿寒・音別の診療所における医師の確保はそれぞれで対応しているが、合併時に阿寒病院を分院化することを確認したのでしっかり対応するよう働きかけてほしい。分院化により医師の人件費による赤字解消にもつながると考える。</p> <p>佐藤：市立病院から医師を派遣するには、医大の合意が必要であるため、分院化が進んでいないと認識している。当面は阿寒地区の医療体制の維持に重点をおいて進める。</p> <p>問：合併して10年で人口が20%減っている。創生総合戦略の人口ビジョンを基に次の総合計画が策定されるのか。総合戦略の新規事業も総合計画に位置づけられるのか。</p> <p>鶴間：現在、同戦略の骨子しか示されていないが、人口ビジョンでは2040年に10万6千人という人口予測がでており、上方修正した第2第3の案を立ててそれをめざした施策を進めていくことにしている。</p> <p>佐藤：11月中旬に委員会を開催して審査をする予定である。</p> <p>鶴間：総合計画の今後の策定については検討中である。</p>
<p>議会への 意見・要望</p>	<p>問：水道料金が上がらないよう最大限の努力をお願いします。</p> <p>宮田：施設の更新などの設備投資による水道料金見直しの協議を今後していくが、しっかり時間をかけて議論していく。</p>

	<p>問：戦争法が強硬採決されたと思うが、議会からの報告がない。</p> <p>鶴間：9月定例会で関連する陳情が2件提出されたが不採択となった。</p>
	<p>要望：釧路地区と音別地区のイベントには助成金があるが、阿寒地区のイベントについては、助成金がないので公平な対応をお願いする。</p>
	<p>要望：議員の活動が見えない。報告会の頻度を増やしてほしい。</p>
	<p>要望：交通量があまりないのに町道を整備しているところがある。議員もよく調べて対応してほしい。</p>
<p>市への 意見・要望</p>	<p>問：阿寒町には児童館や児童センターがなく放課後児童センターだけである。放課後児童クラブや子ども交流広場を任意の児童・園児に開放してほしい。</p> <p>佐藤：対象となる子どもやニーズ、需要はどのくらいあるのか。</p> <p>問：具体の人数は示せないが、阿寒湖に交流館という園児対象の施設があり相当数利用されているので、阿寒本町地区も相当数需要があると思っている。</p> <p>佐藤：需要も含めて、どのような対応ができるのか阿寒町行政センターへ確認する。</p>
	<p>問：阿寒町のプールの利用期間は6月から9月までであり、時間も制限されているので利用しづらい。</p> <p>鶴間：維持管理の面を考慮して運営しているが、ご意見についてはスポーツ課へ伝えたい。</p> <p>問：釧路地区のプールが減り、子どものプール授業が年1回となった。阿寒町のプールを釧路地区の幼稚園が利用しているとも聞いているため、阿寒町のプールの改修と増設をしてほしい。</p> <p>鶴間：西部地区の学校から阿寒町のプール利用については、バス</p>

	<p>がなく移動が困難であるが、来年度から対応できないか担当課へ検討をお願いしたい。</p>
	<p>問：阿寒町行政センターを健康増進のためのサークルにも使用できるように開放できないか。 鶴間：可能性はあるかもしれないので、行政センターに確認したい。</p>
	<p>要望：阿寒町公民館にもエレベーターを設置してほしい。</p>
	<p>問：地域によって道路整備に差があるのはどうしてか。 村上：道路整備は予算の関係でニーズに応えられない部分がある。具体の箇所を教えてもらえれば行政に伝えたい。</p>

開催日時	平成 27 年 10 月 29 日（木） 18：00～19：30
開催場所	音別町コミュニティセンター
参加人数	25 人
出席議員	<p>畑中優周 副議長</p> <p>河合初恵 議員（議会広報特別委員：司会）</p> <p>松尾和仁 議員（議会運営副委員長、総務文教常任委員、都心部市街地整備特別委員）</p> <p>松永征明 議員（経済建設常任委員）</p> <p>大澤恵介 議員（民生福祉常任委員、石炭対策・関連エネルギー調査特別委員）</p>
質疑応答の内容	<p>問：音別は農林産業がメインの町で、TPPのため先行きも不透明だ。また小規模の事業者に対し、金銭面だけでなく、仕組みや仕掛けを作って安心して暮らしていけるよう努めてほしい。</p> <p>松永 大変難しい質問を頂いた。昨日、TPPについて釧路で説明会があったが、情報がすべて開示されておらず、釧路市全体にどのように影響が出るのかわからないので、早く情報を手に入れ、しっかり検討しなくてはならないと思っている。</p> <p>問：音別地区の人口は 27 年 9 月で 2,012 人。釧路市の人口のうち、音別地区の人口は 1.1% ぐらいだ。飛び地でもあり、市の中での立ち位置に不安を持っている。皆さんは音別にどういう思いを持っているか。</p> <p>畑中：大塚の工場、カラマツ、エミューのオイル、フキ紙など、釧路地区にない産業を武器にできるものと思っている。地元の産品についての相談を受け、エミューの販売方法などについて意見交換をしたこともある。フキ紙の卒業証書を市内の各学校で使ってみてはとも思っており、そういう地域資源を大事に育てていきたいと思っている。</p> <p>河合：私は足寄出身なので、林業、農業など身近に感じている。町内会には「こころみ」での行事を呼びかけている。</p> <p>松永：私の出身の阿寒は、農業、酪農、畑作、林業があって、音</p>

別より人口が若干多い程度だ。地元の食材などあるものを活用し、どう付加価値を付けるか考えている。人口が少ないことを悲観しないで皆で頑張りましょう。

大澤：阿寒地区であれ、音別地区であれ特別な地区であるとは思っていない。釧路市としてどう発展していくかが大切だと思う。

声が伝わるのは人の数ではなく、声の大きさに、地域の人が一丸となって声を出すことが大切だ。

松尾：合併して10年のという節目で、できたこと・できなかったことがあり、引き続き注視していきたい。

高速道路ができることで、音別も国道の交通量が減ったと思うが、それに向けた対策など事業の展開を点検していきたいと思う。

意見：ありがとうございます。しっかり見ていてもらっていると感じ少し勇気がでてきた。

松永(問)：白糠IC開通後、大きな支障、損失は身近に感じたか。

参加者A：ゴールデンウィークのときに例年なら信号での渋滞があるが、今年はなかった。ロードサイドの食堂やコンビニ、自販機などは大変だろうと思う。地域住民が恩恵を受けることは難しい。

B：ロードサイドで商売をしている人がいないので、あまり影響はないと思った。

C：釧路まで高速道路がつながると、東釧路まで一気に近くなる。また災害の時、津波の時などに高速道路を使う術ができた。

D：今年のお盆、コイトイ館から白糠の郵便局まで30分余計にかかるぐらい渋滞していた。

E：高速道路が開通して個人的にはプラスになっている。札幌が近くなったが音別が通過点となってしまったことは良くない。

F：個人で不便に感じたことはない。GWや長期休暇の際に車の量が減ったことは感じる。以前はコンビニに地元の間人が車を止められないことがあったが、そういうことがなくなった。

	<p>問：高速道路は、釧路まではどうして無料なのか。</p> <p>畑中：正確には高速道路でなく、高規格道路である。所管もネクスコではなく、北海道開発局である。</p> <p>大澤：建設主体も異なり、新直轄方式と呼ばれるところは北海道開発局が主体である。</p> <hr/> <p>問：「まち・ひと・しごと創生総合戦略」についてだが、自分も北のビーナスの運営や商工会青年会などに関わって、地域特性をいかに生かすか議論しており、参考としたいので具体的な議論の内容を聞きたい。</p> <p>松尾 現在、骨子を検討しているところで、具体の議論はこれからになる。</p> <hr/> <p>問：釧路と音別の上に危険な空き家が多くある。パシクル周辺、音別のパチンコ店などが放置されている。空き家対策で代執行が可能になり、どこかの町では代執行で解体したと聞いた。</p> <p>松永：空き家対策についてだが、危険なところとして議会に報告されたのは9件である。そのうち2件は持ち主が不明である。そういう住宅を壊せることになったので、市ではそのためのスケジュールを作っており、12月にはできると思う。これまでは指導しかできなかったが、具体的な対応ができるようになって進めているので、もう少し待ってほしい。</p>
<p>議会への 意見・要望</p>	<p>問：現在音別出身の議員がいなく、音別の声は市長に、議会に届いているか不安である。このような機会は有意義で、できれば年に何回か開いてもらいたい。また、議員が個人的に懇談会を開くのもいいのだろうし、その方が生の意見も出る。大勢いると声を出しにくいこともあり、飛び地である音別の活性化のために力を貸してほしい。ミニ懇談会などさらに音別で開けるのか、また開く気があるか。</p> <p>畑中：今日は議会広報特別委員会の主催でこうしたことができたが、ミニ懇談会については委員会や個人、会派などでできるこ</p>

ともあるので、各会派に要望があったことを伝えたい。

また、議長も北のビーナスのイベントに出席して同様の意見を聞いているとのことであり、我々も積極的にイベントに参加して意見交換の機会を増やしたい。

松尾：昨年、音別の町営球場の活用について要望を受け、今年度、全道の中学校の野球大会を誘致した。こうした取り組みを引き続き行っていきたい。

問：音別にだんだん人がいなくなり、こうした中、音別地区からの議員が一人もいないのは残念だ。音別に協力をお願いしたい。

畑中 ご意見を受け止めたい。音別のフキ紙を音別小中の卒業式で使ったが、この取り組みを市内の全学校に広げたい。また、「こころみ」についても、合宿などでの活用が促進されるようにしたい。音別についてもしっかり見ている。

問：前回の報告会の参加が少なかったとのことだが、釧路地区での報告会も少ないと聞いている。日程、時期、時間の変更について議論したのか。

河合：アンケート結果をもとに、どのようにすればよいかと検討している。今日はたくさん集まってもらったので嬉しい。

畑中：搾乳時間の関係等から、出席しやすい時間を設定することが大切だ。我々もインターネットやフェイスブックなどを活用しているが、そうした情報を手にできない人もいるので、議会だよりの充実のほか、和気あいあいと意見交換できる方法も検討していきたい。

要望：勤務先でキクイモを作っているが、本業は建設業でキクイモ生産は生業ではない。公共工事の発注量が少ない現状で、一年を通して工事を受注できないと本業の方が成り立たない。そうするとキクイモの生産に取り組めないで、本業が成り立つようにしてほしい。

市への 意見・要望	<p>問：小さい子供を2人持っており、風邪をひいたときに音別診療所へ連れて行ったが、「赤ちゃんは困る」と言われ、仕方なく白糠や釧路の病院に連れて行っている。医者が診察してくれないと薬ももらえないので、オールラウンドに対応できる医者をお願いしてほしい。</p> <p>畑中：市側に申し伝える。</p>
--------------	---

開催日時	平成 27 年 10 月 30 日（水） 18：00～19：30
開催場所	コア大空
参加人数	6 人
出席議員	畑中優周 副議長 伊東尚悟 議員（議会広報特別委員、都心部市街地整備特別委員：司会） 山口光信 議員（議会運営委員、総務文教常任委員長） 松永俊雄 議員（経済建設常任委員） 秋田慎一 議員（民生福祉常任委員、石炭対策・関連エネルギー調査特別委員）
質疑応答の内容	<p>問：台風で町内会の街灯が壊れ、修理したところ結構な金額がかかった。修理代に補助はないのか。</p> <p>松永（俊）：電気代に補助はあるが、修理についての補助はない。街灯の設置もお金がかかるので、設置についても補助が欲しいとの声が寄せられているが、今のところはそうっていない。議会としてこれから努力したい。</p> <p>問：白樺地区のB団地を解体しているが、C団地の解体はいつになるか。人がいなくて気持ち悪いと聞いている。</p> <p>松永（俊）：当初より遅れているが建て替え事業は進んでいる。国の補助金の関係等もあり、むやみに壊すことができない。できるだけ皆さんの意見に沿うような形で、古いものは早く除却できるようにしたい。市としても空き家対策が進められているので、良い方向で進んでいくよう議会としても努力していきたいと思う。</p> <p>問：普段散歩していると道路が暗く感じ、水銀灯を見てみると節約のために消灯しているとある。本当にそうした理由で消灯しているのか。道路を照らす街路灯が切れているのもある。</p> <p>松永（俊）：切れているところと、間引きしているところがあり、お話の場所は間引きしているところなのだろう。間引きは 10 年以上も前から実施していて、議会でも、経費のこともあるが、</p>

そこまでやるのかと議論した経過がある。

問：そもそも街灯は、治安上設置しているのであり、消してあるのは、税金の使い方として公平と言えるのか。昔は切れているところを連絡すると、ありがたいと言ってすぐに直してくれていた。

畑中：交差点やカーブ、通学路など、町内会がどうしても必要だと連絡すると臨機応変に対処してもらえる。町内会から要望をするといい。

問：市立病院の説明は内容が分からない。大幅な改築をしないで済むことにはならないのか。その辺の議会議論を説明してほしい。

秋田：市立病院については、昨年度までは改築ということで話を進めてきたが、国の医療体制が変わり、診療報酬で賄う前提で今後を考えた時に、一部手直しでもいいのかということがある。

不採算部門も抱えており、借金返済のために一般会計からの繰り入れはできないという中で、しっかり計画して増改築しなくてはならず、市民に負担が増えない病院経営を考えている。

道東の中核病院としての機能をしっかり持たせた病院にするということで、少し急いでいるとの声もあるが、議会としても議論を重ね計画を承認してきた。

問：2040年には人口が13万人になるとのことだが、どうしてそうなるのか。その辺の議論はどうだったのか。

山口：地域創生総合戦略の人口ビジョンでは、試算上11万人となる人口予測を、13万人で止めるための案とした。9月議会では目標数値ははっきりしておらず、自分たちも新聞報道で知ったところだ。

地域創生総合戦略については、11月17日から委員会を開催して集中して議論するので、良い計画に仕上がって、人口減少に歯止めをかけたいと思う。

<p>議会への 意見・要望</p>	<p>問：このように意見交換会をやってもらうのは結構だが、言ってもどうにもならない。議員の努力が足りないようだ。その姿勢がこの報告会をただ開いて終わるものになっているのではないか。もう少し苦情を持った人に参加してもらうよう対策をとらないとダメだ。次の報告会にはその辺を考えて欲しい。</p> <p>畑中：議員にしっかりやれとの声だが、貴重な声として受け止めたい。もっと広報していくので、次回も協力してもらいたい。</p> <hr/> <p>問：今日のような報告会はありがたいが、内容は広報くしろや議会だよりを見ると分かることだ。中身の説明は雑ぱくで、わからないし、資料もない。</p> <p>伊東：分かりやすさを考え説明させてもらった。貴重な意見として受け止めたい。次回に向けての改善事項として検討したい。</p> <hr/> <p>問：先の台風の時に、政党の看板が飛んで風に舞っていた。行政は、政党の看板の設置者は誰で、何本立っているかなどを把握しているか。把握していないのであれば、飛んでしまったという事実さえもわからないのか。</p> <p>秋田：議会というより、それぞれの政党で把握しているものと認識している。</p> <p>実際には、壊れた看板は道路管理者から政党に連絡が行く手順になっている。相当数壊れたことも認識しているし、次の風でまた飛ぶことのないよう対応しているところである。</p> <p>問：政党の看板については、市民からの報告ではなくて、自らが設置してある物の安全確認をするべきでないか。</p> <p>秋田：今日出席している各議員において、対応をそれぞれお願いしたい。</p>
<p>市への 意見・要望</p>	<p>問：地域でエゾシカが増えてきており、落ちていた雄ジカの角でパンクしたという話も聞く。あまり増えると人にけがをさせるようなことも起きるのではないか。駆除しなくてはいけないと思うが、良い対策を考えてほしい。</p>

秋田：鹿の駆除は、住宅街では法的に難しく、市民生活に影響が出るのは困るので、担当部署である環境保全課にしっかり伝えたい。

松永(俊)：春採や星が浦には鹿がたくさんいるのは承知しており、個人的には鹿や熊は適切な個体管理が必要と思う。動物愛護についていろいろ意見もあるので難しいが、市民生活の安全や衛生面で何らかの対策は考えていかねばならない。

問：火力発電所のことで事業者からこの会場で報告があり、公害や交通量に関する質問があったが、報告だけで中身については、当事者も答えられないような状況だった。このような状況を市議会としてはどう思っているか。

秋田：自分も参加しており、同じ思いだ。次の特別委員会の中で担当部局に申し入れるよう伝えたい。

問：桜が丘中学校の裏の方に階段があり、学校周辺は除雪されているが、その階段は除雪されておらず、市に何回か質問したところ、桜が丘中学校の要請でできたもので、同校の管理になるとのことである。その後去年は除雪されていたので良かったが、市ではなく地域住民が必要を感じやったということだった。その他、白樺や緑ヶ岡などにも同様の階段はあると聞いており、下はコンクリートなどであり、滑って転ぶと大変だ。

松永(俊)：除雪体制は市内をブロックに分けている。お話の場所は地域住民の利便性のために階段をつけた、ということだと思うが、そうした私道などに対する除雪体制がどうなっているか、具体的に相談してみたい。

また、市道でないため対策をとらなかったことも考えられ、地域の方と相談しながら具体的な対策を考えることが良いと思う。具体的な場所を後ほど教えてほしい。

問：ロードヒーティングでも間引きしているが、間引きの仕方が中途半端で、アイスバーンができ危険である。ひぶな坂がそう

で、どんな基準で間引いているのか。

また、市道の中央線が消えている。道路管理課に電話しても対応されていない。危険な所は早めに対応してもらいたい。

松永(俊)：ロードヒーティングの路線数や休止箇所数などはわからないが、9月議会でも個別の路線についてロードヒーティングにしてほしいという意見があった。市は勾配や交通量を基準として設置したが、休止しているところが半分以上ある。ただ今のご意見を踏まえ対策を求めている。

ひぶな坂については、同じ認識をもち、市に改善を要請している。ひぶな坂や工業高校の横の道路など改善が図られるよう、もう一度努めたい。

問：下水道のことで聞きたい。桜ヶ岡の新生という町内会だが、昭和50年代、1軒あたり8万円出して基準を満たし下水を整備した。その後、準市道になった道路は市に移管されたが、それ以外については私道になった。下水道のある私道に面した場所に住宅の建築を申し出た時に、建築課では大丈夫だと言われたが、道路課では壊れたら自分たちで直さなくてはならないと言われた。

建築課では全て市に移管になっていると思っていたのだが、道路課の方では違うという。また、新築の相談で市役所に行っても建築課と道路課では連携が取れていないので、どこにいても話がわかるようにしてほしい。責任をもって応えてくれる組織が必要と思う。

畑中：窓口一元化は進んでいるが、建築申請時の対応については上下水道部が南大通にあり、道路の方は建築と見解が一緒になっていないと今の話を聞いて思った。建築申請の時には正確な情報を得られるような形をとれるよう市に伝えていきたいと思う。

松永(俊)：下水道については、早くに整備した地域と、遅れた地域があり、また民間で開発したところは民間の下水が入っている。桜ヶ岡の新生町内会は早く開発されたところと認識してい

	<p>るが、全体の財産区分も含めて調査した上で、対策も進めてみたい。</p>
	<p>意見：社会福祉協議会に携わっているが、市に相談しても私のところは関係ありませんと次から次へと回される。機構改革の時に改めてほしい。</p>
	<p>問：台風で、千代ノ浦の岸壁が散歩できる状況でなくなったが、いつ直るのか。</p> <p>畑中：千代ノ浦の岸壁は、管理は釧路市で行っているが作ったのは北海道である。補修に関する北海道からの報告をまだ聞いておらず、査定など時間がかかっているものと思うが、そのままということはない。</p> <p>問：千代ノ浦岸壁には障がいを持った子どもたちが遊びに来ていたが、遊べない状況だ。</p> <p>畑中：被害状況はもらっているが、道の対処の方法を次の議会で確認する。</p>
	<p>問：民間事業者が設置したクルクルよく回る看板がある。中でも背の低いものは子どもが手を入れると怪我をする恐れがあり、そうすると単に設置者だけの責任でなくなるのではないか。</p> <p>秋田：公共用地であれば行政も指導できるが、民地であればそれもできない。できるだけ対応をとるよう担当者へ伝えたい。</p>